

<b>〔科目名〕</b> 財務分析Ⅰ	<b>〔単位数〕</b> 2単位	<b>〔科目区分〕</b> 選択必修 基幹科目
<b>〔担当者〕</b> 長谷川美千留	<b>〔オフィス・アワー〕</b> 時間:講義時にお知らせします。 場所:503 研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 講義
<b>〔科目の概要〕</b> <p>財務分析Ⅰでは、すでに習得している財務諸表に関する基本事項を再確認し、伝統的な財務分析の手法に従い、基本的な財務指標を学ぶことをその内容としている。</p> <p>財務分析は、経営分析または財務諸表分析とも呼ばれる。伝統的な財務分析は、企業が制度のもと開示する財務諸表に対し、おもに四つの観点(安全性・収益性・生産性・成長性)から検討をする分野である。このような伝統的なアプローチは、その基礎を会計学においている。第一段階として、簿記により財務諸表の作成技術を学び、第二段階として会計制度を学修し、財務諸表の背景に存在する理論を習得する。そして、第三段階として、この財務諸表を安全性・収益性・生産性・成長性などの観点から、基本的(伝統的な)財務指標を用いて分析し、分析者の視点を通じて対象企業の実態を把握する。</p> <p>ここで重要なのは、分析者の視点がどこにあるかという問題である。分析者が、企業の在り方について、どのような見解、すなわち企業観をもっているのか、または利害関係者集団のうち、いずれに属しているのかという問題である。この点についても、各自が問題意識をもって考えていく必要がある。</p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> <p>財務分析の対象となる財務諸表は、財務報告制度に基づき、会計理論を背景に、簿記という記帳技術により作成されている。したがって、簿記、会計関連の基礎科目とは密接な関連を持っている。財務分析の対象となる財務諸表は、そもそも会計監査制度により、その信頼性が担保・保証されているという前提であるから、この点で監査論とも関連している。</p> <p>財務諸表を読む能力は、財務諸表の作成と同様に重要である。我々は企業社会に生きており、企業と関係を持たずに生活することは難しい。我々は何らかの形で企業の利害関係者となっている。財務分析の学習により、我々は利害関係者の一人として、企業の経済的実態を深く理解し、自らの経済的意思決定に結び付けることが可能となる。財務分析は、このように企業社会を生きるために必要な能力の習得に結び付く。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> 中間目標 財務諸表(損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書)に関する知識を再確認すること。  最終目標 中間目標で到達した知識を用いて、財務諸表の社会的な意義を理解し、基本的な財務諸表分析ができること。		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> 財務分析を実践する機会を持ってよかったという意見を反映し、実際の企業データを分析する機会を増やしていく。要点やポイントに重点を置きながら、財務分析の基礎をゆっくりと学べるようにしたい。		
<b>〔教科書〕</b> 大阪商工会議所編(2023)『ビジネス会計検定試験公式テキスト公式テキスト3級第5版』中央経済社。		
<b>〔指定図書〕</b> 大阪商工会議所編(2023)『ビジネス会計検定試験公式過去問題集3級第5版』中央経済社。		
<b>〔参考書〕</b>		
<b>〔前提科目〕</b> 簿記・会計学の基礎科目		

**〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)**

評価方法

定期試験(筆記)

**〔評価の基準及びスケール〕**

定期試験(筆記)100%

A評価 80点以上

B評価 70点以上 80点未満

C評価 60点以上 70点未満

D評価 50点以上 60点未満

F評価 50点未満

**〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕**

前提科目として簿記・会計の基礎科目を提示していますが、簿記や会計が苦手、またはあまり深く学習していない方にも受講してほしいと考えております。

**〔実務経歴〕**

なし

授業スケジュール

第1回	テーマ:財務諸表 内 容:財務諸表の意義 教科書第1章・指定図書第1章
第2回	テーマ:貸借対照表1 内 容:貸借対照表の仕組み 教科書第2章・指定図書第2章
第3回	テーマ:貸借対照表2 内 容:貸借対照表の要素 教科書第2章・指定図書第2章
第4回	テーマ:損益計算書1 内 容:損益計算書の仕組み 教科書第3章・指定図書第3章
第5回	テーマ:損益計算書2 内 容:損益計算書の要素 教科書第3章・指定図書第3章
第6回	テーマ:キャッシュフロー計算書 内 容:キャッシュフロー計算書の仕組み 教科書第4章・指定図書第4章
第7回	テーマ:第1回から第6回までのまとめ 内 容:基本財務諸表についての復習 教科書
第8回	テーマ:財務諸表の入手 内 容:財務諸表の入手方法と財務報告制度について 教科書第5章・指定図書第5章

第9回	<p>テーマ:財務諸表分析1</p> <p>内 容:財務諸表分析の手法や利害関係者の視点について</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
第10回	<p>テーマ:財務諸表分析2</p> <p>内 容:成長性分析</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
第11回	<p>テーマ:財務諸表分析3</p> <p>内 容:安全性分析</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
第12回	<p>テーマ:財務諸表分析4</p> <p>内 容:収益性分析①</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
第13回	<p>テーマ:財務諸表分析5</p> <p>内 容:収益性分析②</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
第14回	<p>テーマ:財務分析実践1</p> <p>内 容:実際の企業データを用いて分析を各自で実践</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
第15回	<p>テーマ:財務分析実践2</p> <p>内 容:実際の企業データを用いて分析を各自で実践</p> <p>教科書第5章・指定図書第5章</p>
試 験	<p>定期試験(筆記)</p>